国土交通省 中部運輸局

【平成28年7月20日】「海フェスタ東三河」あれこれ　その１

中部運輸局では「海フェスタ東三河」にブースを出展しています。
出展テーマは「海事産業のＰＲおよび将来を担う子供たちに海の魅力や重要性をアピール」です。

　内航海運、外航海運を紹介するパネル展示をはじめ、船員さんの仕事を説明するDVDやパンフレット、大型船のペーパークラフトの配布、緊急時の命綱とも言えるライフジャケットの紹介、小学生以下のお子様を対象とした「船長になって缶バッジを作ろう！」などのブースを揃えています。開幕から３日間で2,000名以上の方々にご来場いただいています。

開催期間中の土・日・祝日には「大型船の一般公開」が行われています。
開幕直後の7/17・7/18には、国土交通省関係として「海洋研究開発機構深海調査研究船『かいれい』」と「気象庁海洋気象観測船『啓風丸』」の２隻が公開されました。

「かいれい」の後部には大きなクレーンが設置されています。「かいれい」には、無人探査船「かいこう7000-Ⅱ」の潜行支援という役割があり、このクレーンを使って「かいこう7000-Ⅱ」を海におろし深海に送り出して、海溝域の海底調査を行います。
クレーンの形がアルファベットの「Ａ」に似ていることから「Ａフレームクレーン」と呼ばれているそうです。

また、開幕日（7/16）から３日間「海上自衛隊護衛艦『こんごう※』」の一般公開が行われ、開幕直後にかかわらず多くの方々が長い列を作っていました。
※全長161m、基準排水量7,250ｔ、ガスタービンエンジン４基で10万軸馬力

目の前で見る大型船は、迫力満点です！
7/23～7/24、7/30～7/31には、また違う大型船の一般公開がありますので、この機会に、是非、ご来場いただき、その迫力をご堪能ください。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2006 Chubu District Transport Bureau